

様式 1

記入例

令和 4 年 7 月 1 2 日

石川県科学教育振興会
会長 高納 伸 宏 様

研究会名 犬鷲市学校教育研究会理科部会

職・氏名 会 長 石 川 健 太



令和 4 年度越馬徳治科学賞 候補者及び候補校等の推薦について（提出）

標記の件について、当研究会より下記のとおり提出します。

記

候補者（校）名 （該当がない場合は、各項目に斜線を引いてください。）

(1) 個人表彰 【理科教育の振興に努力し、その進展に顕著な業績をあげた教員】

犬鷲市立 あすなろ小	学校	職・氏名	教諭	加賀 小百合
------------	----	------	----	--------

(2) 功労者表彰 【理科教育の推進に功績のあった教員】

犬鷲市立 北部中	学校	職・氏名	教頭	能登 槇一
----------	----	------	----	-------

(3) 学校表彰 【児童・生徒の科学研究活動にすぐれた成果をあげた学校】

犬鷲市立 西部中	学校
----------	----

(4) 学校助成 【小・中・高をつなぐ理科教育を積極的に推進している学校】

犬鷲市立 手取川小	学校	(助成希望額	50,000 円)
-----------	----	--------	-----------

犬鷲市立 第一中	学校	(助成希望額	50,000 円)
----------	----	--------	-----------

県立 犬鷲高等	学校	(助成希望額	50,000 円)
---------	----	--------	-----------

※ 助成希望額は、1 校につき 5 万円以内とする。

※すべての項目において候補者（校）の該当が無い場合は、下記にチェック☑を入れて提出してください。

☐ 候補者（校）はありません。

以上

令和 4 年度越馬徳治科学賞候補者推薦書

記入例

ふりがな 候補者氏名		のとしんいち 能登 慎一	生年月日	昭和 ○・△・□（○ 歳）	
所在地 勤務校 学校名		(〒 ○ - △) 犬鷲市北町31-1 犬鷲市立北部中学校 (電話 ○ - △ - □)		職名	教頭
	年 月	事 項			
略 歴	昭和○年3月	北日本大学理学部化学科卒業			
	昭和△年4月	犬鷲市立あすなろ小学校臨任講師（～昭和○年3月）			
	昭和□年4月	犬鷲市立手取川小学校教諭			
	昭和○年4月	犬鷲市立第一中学校教諭			
	平成△年4月	犬鷲市立北部中学校教諭			
	平成□年4月	犬鷲市立西部中学校教諭（～平成○年3月）			
	平成○年4月	北国大学大学院教育学研究科（修士課程）入学（内地留学）			
	平成△年3月	北国大学大学院教育学研究科（修士課程）修了			
	平成□年4月	犬鷲市教育センター指導主事			
	平成○年4月	犬鷲市教育委員会学校指導課指導主事			
	令和△年4月	犬鷲市立北部中学校教頭（～現在）			
	業 績	① 研究面			
昭和○年		県教職員研究奨励「生徒の興味・関心を掘り起こす導入実験」			
平成○～△年		文部省教育方法等改善研究指定 「学習集団の規模とその教育効果に関する研究」			
平成□年		越馬徳治科学教育研究奨励「環境にやさしい化学実験」			
平成○年		犬鷲市研究成果発表会 中学校理科発表 「化学領域におけるモジュール学習の実際」			
平成△年		県理科教育研究大会 化学部会発表 「理科室の環境整備と安全管理」			
平成□年		「中学校理科における表現力を育成するルーブリックの開発 と実践」(修士論文)			
平成○年		東海北陸理科教育研究所連盟研究協議会 科学教育部会発表 「中学校理科研修講座における地域素材の活用」			
令和△年		「市民として必要な基礎・基本の化学」（共著，いしかわ科学出版）			

※ 候補者の年齢は，令和 5 年 3 月 3 1 日現在で記入のこと。
※ 業績は，参考資料の 1 にある①～④の項目に分けて記入のこと。
（各項目間を 1 行空けること）

[illegible]

本年度越馬徳治科学賞（個人表彰・**功労者表彰**）の候補者として、上記の者を推薦します。

令和4年7月12日

研究会名

犬鷺市学校教育研究会理科部会

職・氏名

会長 石川 健太



令和 4 年度越馬徳治科学賞候補校推薦書

記入例

候補校	犬鷲市立西部中学校		
所在地	(〒 ○ - △) 犬鷲市西町31-1 (電話 ○ - △ - □)		
校長	輪島 浩一	担当教諭	七尾 紀子
科学研究活動を中心とした学校の沿革			
本校は、平成○年の開校以来、犬鷲市こども科学教室の会場校として、児童・生徒の科学する心を育む拠点となってきた。また、学校独自の取り組みとして、夏季休業中の自由研究のために理科室を開放し、相談を受付するとともに、実験器具等の貸し出しを行い、理科研究を奨励している。その結果として、石川県児童・生徒科学作品コンクールでは数多くの受賞者を輩出しており、県知事賞（平成○年）、県議会議長賞（平成△年）、県教育委員会賞（平成□年）等を受賞している。			
平成○～△年度は、犬鷲市の「学力向上モデル校」として研究を進め、理科においては、実社会・実生活との関連を明確にした学習指導、科学的思考力をはぐくむ実験指導の工夫・改善に取り組んでいる。さらに、生徒どうしで考えながら実験を進められるように理科室内の実験器具をわかりやすく配置したり、身近な科学のトピックスを掲示したりするなど、理科室の環境整備にも配慮している。			
また、科学部は、発足した平成□年より現在に至るまで、10月の文化祭において日頃の研究活動の成果をまとめて展示し、生徒の科学に対する興味・関心を喚起している。石川地区中学高校生徒化学研究発表会には毎年参加し、部活動の一環として行った化学実験をまとめて発表している。			

児童・生徒の科学研究活動業績歴	
(過去10年以内で顕著なもの)	
年 月	事 項
平成○年10月	石川県児童・生徒科学作品コンクール 県教育委員会賞
平成△年10月	石川県児童・生徒科学作品コンクール 県知事賞
平成□年10月	石川県児童・生徒科学作品コンクール 県議会議長賞
平成○年12月	石川地区中学高校生徒化学研究発表会 参加
～△年12月	(創部以来□年連続参加)
平成○年10月	青少年のための科学の祭典金沢大会 参加

本年度越馬徳治科学賞（学校表彰）の候補校として，上記の学校を推薦します。

令和4年7月12日

研究会名
犬鷲市学校教育研究会理科部会

職・氏名
会 長 石 川 健 太



[illegible]

